

“秘蔵の松坂屋コレクション” 初出展！

初公開 松坂屋京都染織参考館の名品

「小袖 江戸のオートクチュール」開催

4月26日（土）から、名古屋市博物館で「初公開 松坂屋京都染織参考館の名品 小袖 江戸のオートクチュール」が開催されます。

現在、松坂屋本店で同展のプレイベント「小袖 江戸のオートクチュール特別展」を開催中ですが（南館1階オルガン広場、5月1日（木）まで）、いよいよ本展が始まります。

江戸時代に上層階級の女性が身にまとった着物（小袖）は、注文者の意向を受けて作る高級衣服であり、まさにオートクチュール（高級注文服）とも呼べるものでした。

松坂屋京都染織参考館は、江戸時代の小袖をはじめ、能装束、調度品など約1万点を所蔵しています。

しかしながら、これらの所蔵品は、文化財の保護と優秀呉服の製作に役立てる目的で収集されたため、一般に公開される機会はほとんどなく、幻のコレクションと言われてきました。

本展では、これら秘蔵のコレクションの中から、豪華な小袖の数々を中心に、小袖姿の女性を描いた絵画作品や蒔絵の化粧道具など、多彩な品々約340点を紹介します。

同館の所蔵品がこれほどの規模で一般公開されるのは、初めてのことで、当時のファッション、文化を貴重な名品の数々とともに楽しむことのできる、またとない機会です。

会場は、名古屋市博物館を皮切りに、東京、大阪の全国3カ所を巡回展示します。

■松坂屋京都染織参考館

松坂屋京都染織参考館（京都市中京区）は、松坂屋が所有する染織資料等を収蔵する施設です。呉服商としての長い歴史を持つ松坂屋は、古い時代の優れたデザインを呉服作りに生かす目的で、昭和6年（1931年）から、江戸時代の小袖をはじめとする染織品の収集を始めました。所蔵品は小袖、能装束をはじめ、古代裂や外国の裂地を含む裂地類、調度品など約1万点にのぼります。江戸時代の大家に伝わった小袖、能装束や、洋画家 岡田三郎助が収集した染織品も含まれます。

〈展示作品一例〉



「扇面模様振袖」(江戸時代中期)
(4月26日～5月18日展示)



「雪輪に梅春草模様小袖」(江戸時代中期)
(5月20日～6月8日展示)

名称 「初公開 松坂屋京都染織参考館の名品

小袖 江戸のオートクチュール」

会期 2008年4月26日(土)～6月8日(日)

休館日 4/28(月)、5/7(水)、12(月)、19(月)、26(月)、27(火)、6/2(月)

開館時間 9時30分～17時(会場は16時30分まで)

会場 名古屋市博物館1階(名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1)

主催 〈名古屋会場〉名古屋市博物館、松坂屋京都染織参考館、日本経済新聞社、中日新聞社

観覧料 (当日) 一般1200円 高大生800円 小中生400円

巡回展 〈東京〉サントリー美術館 2008年7月26日(土)～9月21日(日)

〈大阪〉大阪市立美術館 2009年4月14日(火)～5月31日(日)

お問い合わせ先

J.フロント リテイリング(株) 広報・IR部 (名古屋) TEL052-264-7028
(東京) TEL03-6895-0178